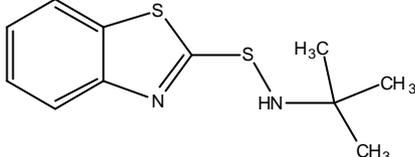


化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001 - 18	官報公示 整理番号	5 - 3417(化審法) 1 - 282(化学物質管理促進法)	CAS 番号	95 - 31 - 8
名 称	<i>N</i> -(<i>tert</i> -ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド 別名： <i>N</i> -(<i>tert</i> -ブチル)-2-ベンゾチアゾリルスルフェンアミド、NS		構造式		
分子式	C ₁₁ H ₁₄ N ₂ S ₂		分子量	238.37	
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 99%以上 不純物 : ジ(2-ベンゾチアゾリル)ジスルフィド 添加剤又は安定剤 : 無添加					
物理・化学的性状データ 外 観 : 灰白色固体 ²⁾ 融 点 : 105 ³⁾ 沸 点 : 文献なし 引 火 点 : 文献なし 発 火 点 : 文献なし 爆発限界 : 文献なし 比 重 : d ₄ ²⁵ 1.29 ²⁾ 蒸気密度 : 該当せず 蒸 気 圧 : 該当せず 分配係数 : 文献なし 加水分解性 : 水中で加水分解を受け、2-メルカプトベンゾチアゾール、ジ(2-ベンゾチアゾリル)ジスルフィド、ベンゾチアゾール及び <i>tert</i> -ブチルアミン等を生じる 解離定数 : 文献なし スペクトル : 主要マススペクトルフラグメント m/z 182 (基準ピーク, 1.0)、57 (0.58)、223 (0.55) ⁴⁾ 吸脱着性 : 文献なし 粒度分布 : 該当せず 溶 解 性 : 水に難溶 ²⁾ クロロホルム、ベンゼンに易溶 ²⁾ メチルアルコール、アセトン、トルエンなどの有機溶媒に可溶 ²⁾ 換算係数 : 該当せず					

総合評価

1) 危険有害性の要約

本物質に関するヒトへの影響は、疫学調査を含め報告がみられない。実験動物では、眼に対し弱い刺激性と、反復投与毒性で肝臓、腎臓への影響のほか、溶血性貧血が報告されている。変異原性・遺伝毒性では、染色体異常試験で陽性であるが、発がん性に関する報告はない。生殖・発生毒性では、受胎率の低下はみられるものの、出生児への影響はみられていない。

本物質は環境中に放出された場合、物理化学的性状から考えて主として水圏、土壌及び底質に分布するものと予想される。水圏では加水分解を受けやすく、生分解を受けにくい。濃縮性は低い。環境省のモニタリングでは検出されたことはない。水圏環境生物に対する急性毒性は、藻類に対しては非常に強く、甲殻類及び魚類では強い。

2) 指摘事項

- (1) 水圏環境生物に対する急性毒性は強い。
- (2) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料 (2001).
- 2) 13901 の化学商品, 化学工業日報社 (2001).
- 3) Hazardous Substances Data Bank (HSDB), U.S. National Library of Medicine (1998).
- 4) NIST Library of 54K Compounds.